特別支援教育の担当者実践交流サークル

第２水曜日１９：００～２０：30　参加費は無料です。

会場はサポートハウス「わにの家」　第２ハウス（武蔵小杉駅下車 徒歩１０分）です

１月は１７日（水）です。新規のご参加歓迎。

＜１２月の報告＞

☆　教育相談や冬休み前の準備等で忙しい時期の中、今月は６人の方が参加されました。

☆６年担当の方からは、進学先が地域の中学校の支援級に決まって、子どもが落ち着いて学校生活を送れるようになったとの報告。高学年になると､心と体の成長が大きい。やだやだと拒否したり、他害行為がでたりその対応に苦慮することがある。誰でも対応できるわけでもなく、男性がいないと困ることもある。時に根くらべになることもある。

☆　小学校入学でも、年長さんが学校や学級を見学してどこに入学するかを決める際に、子どもたちが自分らしく安心して生活できる場は何処か、通常級か支援級か、その迷いにどう寄り添ってあげられるか悩む。

☆　幼児対象の「児童発達支援事業所」(民間)が多く開設されてきた。そこを利用されている方はそこでの検査や学習支援など受けながら就学先決定の助言も受けているなど、最近の保護者がお子さんの進路選択に関する相談をされる状況についていろいろと話題が出ました。

☆　久しぶりに「みんなのねがい」１月号の中の「基礎から学ぶ障害と医療・第1回知的障害ってなに？」を輪読しました。

　現在の知的障害の定義には、ＩＱだけでなく適応行動に問題が生じている状態も含まれている。支援ニーズの強度や適応行動における制約の程度に着目し、一人ひとりにどのような個別のニーズがあるのかを把握することを大切にする姿勢､つまり社会との関係性を重視するような捉え方に変化してきている。個人の発達の凸凹を見つめながらできることに着目して支援することが大切ではとの意見が出ました。

　同じ文章を読みワイワイ話すことは楽しいですね。
　来月もお会いしましょう。

※　購読ご希望の方はわになろう会　伊藤まで

月刊「みんなのねがい」１月号（715円　送料79円）

特集　よし、買い物いこ
- 買い物はコミュニケーション
- 僕のお買い物ストーリー＆ヒストリー
- 娘と冷蔵庫と買い物と
- タイミングと気遣い
- 買い物を通して広がる子どもの世界
- 小さな冒険
- 人生を豊かにする買い物

発達のなかの煌（きら）めき
第Ⅱ部　発達的共感が創り出す実践
第１０回　放課後活動ではぐくまれるもの
／白石正久　白石恵理子

社会をみる
第１０回　知り合い、気づかい合い、学び合う
／杉田真衣（都立大学人文社会学部）

基礎から学ぶ　障害と医療
第１回　知的障害ってなに？
／平田正吾（東京学芸大学）

福祉現場の今を読み解く
第４回　入所施設は必要なのか？　／田中智子

ニュースナビ
障害児に関わる「応益負担」撤廃を
障害者自立支援法違憲訴訟基本合意と
第１４回定期協議の焦点／薗部英夫

サポーターの研修・交流会

２０２４年２月１１日（日）
川崎市生涯学習プラザ　４０１会議室
第１回　13時00分～16時00分
第２回　17時00分～20時00分

研修
体験交流
意見交換

多様な進路を考える　進路学習会（川崎市教職員組合障害児教育部と共催）　報告

◇　１２月１７日（日）午後　生涯学習プラザにて
参加者は運営スタッフも含めて７０人で満席でした。

◇　４名の方から貴重な報告を伺いました。
- 市内特別支援学級卒業生の進路が多様化してい状況などについて（伊藤琢也氏）
- 県立高校で取り組まれているインクルーシブ教育の現状や志願方法の説明など（赤田佑貴氏）
- 中卒後の進路の様々な選択肢の紹介とその選択にあたってのアドバイス（阿佐野智昭氏）
- ご自分の進路選択の体験談（長田はるな氏）

◇　参加者からの質問や意見交流ではつぎつぎと手が挙がり時間いっぱい話しあいが続きました。
インクルーシブ教育の詳しい内容に関する質問が最も多く、関心の高さがうかがわれました。
長田さんのお母様も参加されていて、親としての思い、お子さんとの関わりなどお話ししてくださり、さらに内容が濃い学習会となりました。

◇　報告者、ご参加の皆様に感謝いたします。